

今回の巻頭記事は前回のインド通信に続きフィリピン マニラ駐在の松本 勝之先生からの現地事情報告です。フィリピンといえば皆様は何を思い浮かべますか？編集者のビジネス経験からは①日本に近い国で英語が通じるので日本企業の海外進出国として、かつては脚光をあびた国。しかし停滞を経て、最近また注目を浴びている新興国。②出稼ぎが多い国。例えば香港の休日はフィリピン人のメイドさんたちが集まって同郷会？を開いている。③アジアのホテルでバンドをしているのはフィリピン人が多い（歌がうまい民族なので）、④スモークマウンテンはまだあるのかな？、等といったことを思い浮かべます。

今回はその報告の前編で、現在のフィリピンが報告されています。

フィリピン【マニラ通信】 松本 勝之先生 (城北支部)

2016 年 7 月 1 日 ドゥテルテ大統領が就任。日本の報道でもフィリピンを取り上げられる機会が増えてきました。ドゥテルテ大統領は「フィリピンのトランプ」と言われているようですが、マニラの日本人駐在員の間では、その見方は違います。

あえていえば「フィリピンの田中角栄」というべきでしょうか？

「地方出身」の「庶民に人気」の「実行力のある実力派政治家」。これからフィリピンがどこへ向かうのか、目が離せません。

● フィリピンってどんな国

- ・フィリピン (マニラ) は、東京から飛行機でおよそ 4 時間
- ・日本と同じ島国 (島の数。日本 約 6,800、フィリピン 約 7,000)
- ・人口は約 1 億人。平均年齢 23.5 歳 (日本 : 46.1 歳)
町を歩くと子連れの子供や若い家族を本当に多く見かけます。
- ・2016 年 4-6 月期の実質 GDP 成長率は 7.0% (10 年でいわゆる「所得倍増」)
まさに日本の 1960 年代の高度経済成長期のようにあります。
- ・またフィリピンは、世界有数のカソリック信者の多い国 (約 8 割) でもあります。そこでアジアの中のヨーロッパ飛び地の雰囲気も醸し出されています。

フィリピンというと、とかく「危ない国」とのネガティブなイメージが先行していますが、百聞は一見に如かず。ぜひ見に行ってください。

(1) フィリピンの魅力

①人口 1 億人

フィリピンは、2014 年 8 月に人口 1 億人を超えました。人口 1 億人を超えるのは世界で 12 か国しかありません。(表 1)

町を歩くと、都会も田舎も子供たちが元気よく走り回っています。

「宵越しの銭は持たない」的な消費性向も相まって、大変巨大な消費マーケットを築きつつあります。

②高い経済成長率

2016 年の 4-6 月期の実質 GDP 成長率は依

(表 1)

	国名	人口 (億人)	平均年齢	人口増加率
1	中国	13.7	36.7	0.44%
2	インド	13.1	27.0	1.25%
3	米国	3.2	37.6	0.77%
4	インドネシア	2.6	29.2	0.95%
5	ブラジル	2.1	30.7	0.80%
6	ナイジェリア	1.9	18.2	2.47%
7	パキスタン	1.8	22.6	1.49%
8	バングラデシュ	1.6	24.3	1.60%
9	ロシア	1.4	38.9	-0.03%
10	メキシコ	1.3	27.3	1.21%
11	日本	1.3	46.1	-0.13%
12	フィリピン	1.0	23.5	1.81%

然 7.0%と高い成長をキープしています。

前アキノ政権においては、経済優先の政策をとり、以来マニラを中心とした経済成長を進めてきました。現ドゥテルテ大統領は、地方（ルソン島以外出身の）初の大統領として、地方への経済成長拡大を施策に掲げており、この経済成長の恩恵を、フィリピン全土に拡げていけるか、その行方に注目（期待）です。

③女性の社会進出

(写真：弊社の女性幹部)

フィリピンは、世界有数の女性の社会進出が進んだ国であり、管理職の6割は女性が占めています（私の会社も課長補佐以上は7割近くが女性）。背景には、大家族で互いの子育てを助け合う風習や、子守・メイドが比較的容易に確保できることがあります。

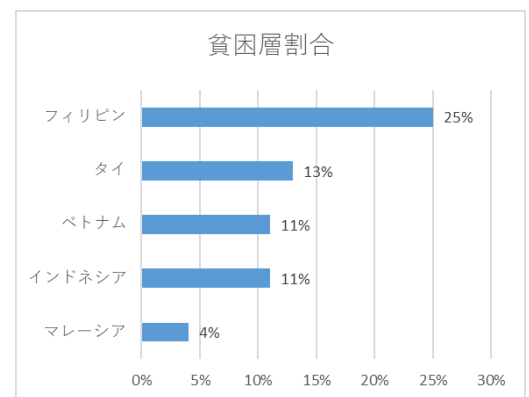


女性の上司というのは、よく見られる風景であり、「Yes, Sir」に代わり「Yes, Ma'am」を会社ではよく耳にいたします。

(2) フィリピンの課題

①高い貧困率

フィリピンは、ASEAN の中でもっとも貧困層が占める割合が高く、貧困ライン（1日1ドル以下で生活）で生活をしている家庭が25%に達しています。まだ多くの家庭において、冷蔵庫、洗濯機がなく、洗剤なども石鹼棒や使い切りの小パックが普通に使われています。



②麻薬問題

麻薬は現在、フィリピンで一番 HOT な話題です。島国で長い海岸線をもつため、海からの麻薬ルートが発達しており、かつ高人口の「消費地」として麻薬は貧困層を中心に根深い問題となっております。地方政府においても、首長・議員が麻薬関係者である（といわれている）例が多く、家族・親族・友人の麻薬問題に苦しむ多くの人々が麻薬問題の解決を求めています。ドゥテルテ大統領はダバオ市での麻薬撲滅の実績を掲げ、高い支持を得て大統領選での地滑りの勝利を獲得しました。

③交通インフラ

フィリピンでは鉄道インフラの整備が遅れており、慢性的な渋滞が社会問題となっております。対応策として鉄道敷設・高速道路などの整備が毎政権で叫ばれていますが、実は一番のポイントはソフト面の整備（信号など交通整理手段の充実や駐停車マナー、道路横断のマナーの向上、割り込みの禁止といった交通マナー面の改善による、道路交通のボトルネック解消）であつたりします。

④外資規制

経済特区（Philippine Economic Zone Authority: PEZA）による製造業誘致が大きく進んでいる一方で、財閥による既得利益保護のための外資規制が残っていることも、フィリピンでは大きな課題です。小売業については、資本金 2.5 百万ドル以下の小売業については外資参入が禁止されており、現地資本との提携によるフランチャイズ方式を取らざるを得ません。また外資による土地保有も規制されております。現ドゥテルテ政権は外資規制の緩和を打ち出しますが、特に土地保有は憲法で定められており、その改正のハードルは高いものとなっております。

今号はフィリピンの現状をお伝えしましたが、次号にて「フィリピンでのビジネスチャンス、注意点、今後」について触れていきたいと思ひます。

松本 勝之

2005年 中小企業診断士登録

1993年 新日本製鐵株式会社 入社。

2002年-2003年に、マレーシア・インドネシア子会社の財務責任者に着任。両社の撤退・清算に従事。

2014年より現職。Nippon Micrometal Corporation Philippines

(半導体材料メーカー)にて、財務・人事・総務の責任者を務める。

またマニラ日本人会内所属の合唱団 Manila Glee Club の指揮者も務め、休日は日比文化友好を深める。



研究会報告 ～診断士 大人の社会科見学 菅 巧也先生

10月2日(日)、有志の診断士にて大人の社会科見学と称して勉強会が開催されました。

内容は、①足立区北千住駅周辺の商店街視察、②サポステ(若者の就職支援)についての勉強会、③あだちNPO フェスティバル視察でした。

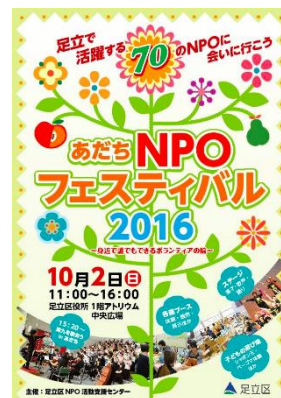
参加者は複数の支部から参加されておりました。城北支部からは、遠藤先生と菅が参加しました。

北千住駅周辺の商店街が視察については、現状と、商店街を見るうえで想定すべき事柄について学びました。当商店街は東京芸術大学の通学路となっており、商店街も少なからずおしゃれな感じで、魅力的で住みやすい地域になっているとのことでした。

次に、サポステについて知識を深めるべく、どのような活動が行われているか、学習しました。サポステは若年無就職者の就職支援等を行っている機関とのことでした。また商店街と関係して、平日の午前中に商店街の清掃をサポステが若者を斡旋しボランティアで実施されていることについての説明があり、地域貢献を就職支援の入り口の一つとしていました。

最後に本日開催されていた、あだちNPO フェスティバルを視察しました。本イベントは足立区のNPO 団体が集まって、お祭りに近い形で出し物をし、自分たちの活動の内容を知ってもらう、そのような内容でした。

全体を通して、ボランティアなどの地域貢献の観点から、今、社会、地域にどのようなことが求められているか、一つの新しい視点を持つて考えることが出来る内容でした。



※サポステとは

正式名称「地域若者サポートステーション」のこと。

働くことに悩みを抱えている15歳~39歳までの若者に対し、キャリアコンサルタントなどによる専門的な相談、コミュニケーション訓練などによるステップアップ、協力企業への就労体験などにより、就労に向けた支援を行っています。

参考 URL : http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/shokugyounouryoku/for_worker/ys-station/index.html

※足立若者サポートステーション

商店街清掃活動は、毎週月曜日午前中に行っている。場所は、千住本町商店街。

参考 URL : <https://m.facebook.com/hontyousenjyu/>

商店街にとっては街の美化、若年無業者にとっては社会復帰のきっかけづくりとなる。こうしたコラボレーションは、診断士がコーディネートできることの可能性がある。

会員紹介 「城北プロコン塾生のひとり言」～ 大場 浩幸先生 (a1671779@gmail.com)



みなさん、こんにちは。私は今年4月に診断士に合格、城北支部に入会させていただいた大場浩幸（おおば ひろゆき）と申します。

今年、プロコン塾4期生として入塾させていただきました。簡単に私の経歴をご紹介します。現在は保険会社に勤務していますが、大きなトピックスは2012年に地方銀行へ出向した経験です。出雲大社のある島根県に出向したのですが、ちょうど60年ぶりの遷宮ということで、縁結びのご利益にあやかろうと多くの参拝客が全国から訪れていました。多くの中小企業の社長に提案する機会を得たこと、まわりの銀行員が周辺知識の獲得に励んでいる姿に刺激を受けて、診断士の勉強を始めたことは収穫でした。

生命保険は保障と貯蓄の機能を兼ね備えており、会社の運転資金、負債返済、社長の退職金などに活用でき、喜んでいただけたことは嬉しかったのですが、診断士の知見があれば、もっと中小企業のお役に立てたのではないかと考えています。

私はまだ診断士として独立していませんが、プロコン塾で先生と仲間の塾生の皆さまから多くのことを学んで、実践できる診断士になりたいと思っています。

最近では世界でも深刻なダメージを与える地震や洪水などの天災が多発しており、国内でも4月に熊本地震が発生しました。被害の皆さまにはお見舞い申し上げます。今後も国内で大震災発生が予測されておりますが、日頃から企業が震災へ備えることが必要と言われております。このような分野を含めて診断士としての活躍できる得意分野を広げていきたいと考えています。

11月27日（日）開催の江東シーサイドマラソンのハーフマラソンに出走します。久しぶりの大会ですが、無理をせず完走を目指しています。お酒も好みますので、いろいろな機会を見つけて参加させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

あとがき

アメリカ大統領選では事前予想を覆してドナルド・トランプ氏が衝撃的な勝利をはたしました。開票の実況中継の間には、「トランプ氏有利」の情報が流れる度に日本市場の株価が下がり、気づけば「トランプ・ショック」！その波に乗り遅れて私も大変ショックでした（泣）。と思った次の日には反動で下がった以上の上げ幅になり、一喜一憂しても仕方がないくらいの変動に驚きました。人間はどうしても感情（勘定！？）で動いてしまうので、私もそろそろロボットが株を自動で売り買いしてくれるサービスの利用が必要かなと思った今日この頃でした。

【本誌に関する皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております】

①皆さまがお持ちの“ネタ”を提供してください

- ・研究会・区会の活動を紹介したい、または、ご自身のセミナーを紹介したい。⇒広報部員が潜入します
- ・ご自身の特技を紹介したい。支部内の方と交流したい。⇒「今月の城北人」のコーナーで紹介します
- ・診断士としてのノウハウを紹介したいなど ⇒特集記事化します。

②皆さまが知りたいことを教えて下さい

- ・企業内診断士の活動状況が知りたい。

- ・独立するには、どうしたらいいかを知りたい。
- ⇒各種 特集を組んで記事を作成します。

③読者としての（批判も含め）感想をお聞かせください

- ・批判的な内容もお願いします。今後の改善に活用させていただきます。

④本誌編集スタッフ募集中

- ・「隙間時間にちょっと」「アイデアを出すだけ」でも構いません。
- 問い合わせ先 城北支部広報部：johku.kouhou@gmail.comまで よろしくお願ひ致します。

JOUHOKU SHINDAN 誌

2016年11月14日発行

発行者：城北支部長 清水一都

編集者：城北支部 広報部